

令和6年度使用小学校教科用図書
調査研究委員会まとめ

教科・種目名	国語
--------	----

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 単元の導入に、学習の進め方がステップアップ方式で示されている。
- 2 情報の扱い方に関する内容が多く、今の時代にふさわしい。
- 3 読む単元の後には、関連図書5冊が紹介され、作者やあらすじも載っているため興味関心が高まる。
- 4 導入のページで、写真や挿絵が大きく載っており、そこから、どんなことを学ぶか想像したり、内容の導入をしたりすることができる。
- 5 高学年は、上下巻が一冊になっているため、時期を考えずに教材を活用できる。
- 6 二次元バーコードで様々な資料が見られ、資料が豊富である。

【教育出版】

- 1 学び方が示され、キャラクターの助言があり、分かりやすい。「ここが大事」のコラムで身に付ける事項が示されている。
- 2 3年生に地域の行事に触れる内容があり、SDGsに関連した内容があるなど、他教科等との関連が図られている。
- 3 「図書館へ行こう」が充実し、読むことの単元には「本を読もう」で3冊紹介されている。
- 4 書き込めるスペースがとられていて、課題に取りかかりやすい。
- 5 全学年上下巻に分かれているので、教科書の持ち帰りがしやすい。
- 6 二次元バーコードで動画を見ながら学ぶことができるようになっている。

【光村図書】

- 1 学習の流れや、単元や領域で付ける力が明示され、児童が目標をもって学ぶことができるようになっている。
- 2 朝顔の観察につなげられるような読み物、観察記録の書き方などが示され、他教科との関連を意識した内容になっている。
- 3 読む単元の後には、関連図書3冊が示され、関心を引くテーマが掲載されている。
- 4 挿絵として、車いすに乗った子どもや肌の色が様々な子どもを掲載するなど、多様性に配慮した絵になっている。
- 5 高学年は、上下巻が一冊になっているため、時期を考えずに教材を活用できる。
- 6 二次元バーコードで様々な動画の資料が提示されている。

教科・種目名	書写
--------	----

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 目次に書写を学ぶ意義が示され、「何のために学ぶのか」が理解できる。
- 2 1年の指導について、「おむすびの形にくるり」のように運筆がイメージしやすい指導がある。
- 3 3年生の毛筆の指導について、筆、和紙、硯、墨の作り方が書かれており、道具への関心が引き出せる。
- 4 よい例とそうではない例が示されており、自分の文字と比較して課題を意識できるようになっている。
- 5 4年「文字の組み立て」では、「竹」「笛」のように字形の変化が分かる文字を手本としていて分かりやすい。

【教育出版】

- 1 めあてだけでなく、学習を通して考えるべきことを提示していて、意識しやすい。
- 2 1年生の指導について、姿勢や鉛筆の持ち方が写真で示されている。
- 3 3年生の毛筆の指導について、墨汁の量などを示し、紙ばさみの作り方も載せてあり、指導に活用しやすい。
- 4 単元ごとに硬筆での「ためし書き」「まとめ書き」のスペースがあり、毛筆と硬筆をつなげる指導ができる。
- 5 4年「文字の組み立て」では、「竹」「笛」のように字形の変化が分かる文字を手本としていて分かりやすい。

【光村図書】

- 1 学習の進め方が細かく示されていて、1時間の見通しをもつことができる。
- 2 1年生の「書写スタートブック」が分かりやすい
- 3 3年生の「毛筆スタートブック」が分かりやすく、「できているかな」で毛筆と鉛筆の関連を図ることができる。
- 4 毛筆の指導では、手本が見開き左ページ、ポイントは右ページに統一されている。
- 5 SDGsを取り上げ、他教科との関連も図っている。

教科・種目名	社会
--------	----

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 学習過程が明確に分かれている。児童、教師共に学習の流れを確認しながら進められる。
- 2 「いかす」「広げる」などの応用ページが豊富に用意され、二次元バーコードを活用してクイズ等のコンテンツにも容易にアクセスができ、発展的学習に取り組みやすい。
- 3 全単元に単元のみあて、小単元の学習問題、本時のみあてが明示されていて、問題解決的な学習を進めやすい。
- 4 導入や知識補完など、目的毎に資料や動画がまとまっていて、視覚的に理解を深められる。

【教育出版】

- 1 学年間や次の単元、文京区とのつながりがあり、分かりやすい内容となっている。
- 2 二次元バーコードに動画、ドリル、ふりかえりワークシートが入っていて、児童の興味関心を高めたり、学習を補完したりすることができる。
- 3 写真や重要な言葉が大きく示されていて視覚的に分かりやすい。
- 4 資料の数が多く、どの単元のレイアウトも似ているため、児童が主体的に資料を選択することができ、個別最適な学びが促されている。

【日本文教出版】

- 1 単元の内容とSDGs等の現代的な問題との関連を扱った記載がある。
- 2 二次元バーコードから豊富な資料を活用することができ、デジタルコンテンツがwordの形式で作成されているため、デジタルノートへの活用が容易である。
- 3 コラムや漫画形式でのやり取りなどがあり、発達段階に応じて児童の興味関心を引くような工夫がされている。
- 4 資料が豊富にあり、指導者の意図に応じて資料を選択したり、児童が自身の課題解決のために選んだりして活用することができる。

教科・種目名	地図
--------	----

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 社会科教科書「新しい社会」との関連が強く、社会科の学習と関連付けながら学習を進めることができる。
- 2 ステップ表、空撮映像、白地図など教師が授業で活用できるデジタルコンテンツが充実している。
- 3 紙面全体を通して配色が濃いため、地名などの情報をつかみやすい。
- 4 都市表記などが目立つ配色、見やすい字体と字の大きさを強調されており、情報を素早く得ることができる。

【帝国書院】

- 1 地図学習の導入期にあたる3年生から歴史学習に取り組む6年生まで、発達段階に応じて様々な活用ができるよう工夫されている。
- 2 地図クイズや地球儀の使い方の動画など、児童が授業で活用できるデジタルコンテンツが多く、主体的に学習に取り組める。
- 3 地図の紙面全体を通して配色が淡いため、目に優しく、日常的に活用できる。
- 4 都市表記の文字の大きさとイラストの大きさのバランスがよく、地形も立体感のある表現になっているため、視覚的に分かりやすい。

教科・種目名	算数
--------	----

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 各単元の冒頭に前学年からのつながりが意識された構成になっている。
- 2 自分たちで学びを切り拓く力を育成するために、単元の後半にはこれまでの問題解決の過程を振り返り、新たな課題を見出すページが設定されている。
- 3 単元の後半は、問題解決に取り組めるよう、吹き出しや発問をシンプルにしている。
- 4 ポイントが色分けされていたり、単元ごとに色、めあて、まとめが統一されていたりすることで、視覚的に分かりやすく工夫されている。

【大日本図書】

- 1 表記上の特徴「問題をつかもう→自分で考えよう→学び合おう→まとめよう→使ってみよう→振り返ろう」の流れがはっきりしている。
- 2 算数の学び方が、全学年の学習を例にして5つの場面中表示しているため、学習に見通しがもてるよう工夫されている。
- 3 中学校で学ぶことを発展的な問題として掲載され、コラムが充実している。
- 4 目次を見るだけで、下学年から上学年へ単元の見え方が見えるように明記されている。

【学校図書】

- 1 「図や表を使って問題を考えよう」というページが、3年以降に特設ページ・巻末ページとして設定されている。
- 2 算数の見方・考え方を様々な場面で使えるようにキャラクター化したマークを使い、思考を助ける工夫をしている。
- 3 身の回りの図形や材料が豊富に記載されている。また、適用問題が充実している。
- 4 他者の考えを多様な考えとして明示し、キャリア教育の進め方に配慮している。

【教育出版】

- 1 図で表現することを大切にしており、問題解決に当たって図を描かせるための工夫がされている。
- 2 児童から問いを出させる工夫がされている。
- 3 数学の歴史を掲載し、どのようにして数学がつくられてきたかに児童の関心を向かわせている。
- 4 授業開きの特設単元があったり、4コマ漫画で要点を押さえたりしている。

【啓林館】

- 1 二次元バーコードにコメントが付いていて、見てすぐ分かるよう工夫されている。
- 2 単元を通した学習のめあてが提示されている。
- 3 既習内容を振り返らせ、児童が問いをもてる工夫をしている。
- 4 第3学年以上では、「わくわくSDGs」のページを設け、「現代的な課題」について考えるページを充実させている。

【日本文教出版】

- 1 どの時間にもめあてとまとめが記載され、見てすぐわかる学習の流れになっている。
- 2 補充問題が3段階に分かれている。巻末の問題が多く、難易度も高めのものもある。
- 3 巻末に付録が多く付いていて、作業的な活動を多く取り入れている。
- 4 「見方・考え方」がはっきりと明記されているため、意識して学習しやすいよう工夫されている。

教科・種目名	理科
--------	----

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 文字が大きく読みやすい。また、挿絵や写真も豊富に掲載されている。
- 2 「問題」「予想」「実験・観察」等の理科学習における問題解決の段階が明確に示されている。
- 3 二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツは、映像資料のみにとどまらず、バラエティに富んだ内容となっている。
- 4 単元末の「活用」部分では、理科で身に付けるべき資質・能力を伸ばすような場面が用意されている。
- 5 児童の生活経験から仮説や予想ができるような活動が設定されている。

【大日本図書】

- 1 説明と写真のページを分けるなど、ページごとに児童に伝えたいねらいが明確である。
- 2 「問題」「予想」「計画」等の理科学習における問題解決が7つの段階で細かく示されており、児童にとって問題解決の学習が進めやすく、また、教員にとって指導しやすい構成である。
- 3 二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツは、内容が一覧で見られるようになっており使いやすい。
- 4 季節による生き物の様子の変化をとらえる学習では、四季の他に「夏のおわり」「春のおとずれ」など独自性ある季節設定がされている。
- 5 上学年の学習内容へのつながりを意識している活動が多く設定されている。

【学校図書】

- 1 実験方法を考えたり、実験結果を見取ったりするための写真が効果的に配置されている。
- 2 「問題」「予想・計画」「観察・実験」等の理科学習における問題解決が6つの段階で示されている。
- 3 二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツは、映像資料や観察・実験結果の提示など標準的な内容である。
- 4 事象提示の部分がストーリー仕立てになっていることが多く、提示の仕方に独自性がある。
- 5 単元の学習を通して児童に身に付けさせたい力が重点的に示されている。

【教育出版】

- 1 文字が大きく見やすい。文章による説明部分が多くある。
- 2 「問題」「予想」「実験・観察」等の理科学習における問題解決の段階が明確に示されている。
- 3 二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツは、映像資料や観察・実験結果の提示など標準的な内容である。
- 4 例示されている実験等の試行回数が多く、精度の高い結果を得ることができる。児童の発想からは出にくいような実験方法の例示がある。
- 5 理科で大切にしたい言葉が示されていたり、「まとめ」ではなく「結論」と記述されていたりするなど、理科学習における言葉を重視した内容である。

【啓林館】

- 1 視覚情報を少なくすることで、児童の発想を引き出そうとしている。
- 2 「問題」「予想」「実験・観察」等の理科学習における問題解決の段階が明確に示されている。
- 3 二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツは、関連情報が一覧で見られる良さはあるが、情報量が多く、目当ての情報を探すことに時間がかかる。
- 4 年度の前半に「生命」「地球」領域の学習、後半に「エネルギー」「粒子」の単元を集中して配置するなど単元構成に独自性がある。
- 5 算数科と理科の学習との関連性を考慮する等、カリキュラム・マネジメントの視点が生かされた構成である。

教科・種目名	生活
--------	----

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 単元の中に二次元バーコードはなく、巻末にまとめていろいろな生き物が見られる二次元バーコードがある。
- 2 単元導入の扉写真がすべて児童の笑顔の写真になっている。自分たちも「やってみたい」という意欲につながる構成である。また、単元ごとに1人の児童を続けて紹介しているので思考を読み取りやすい。
- 3 巻末「かつどうべんりてちょう」では、他教科の領域にも踏み込んでいる。また、まとめ方の例が多くあり、指導する際、参考になる。「ほんとうのおおきさポケットずかん」では、植物や生物を実寸大で紹介し、児童の興味・関心を引きやすい。
- 4 「感染症及び防災・安全に関する校閲」を受けていて、「あんぜんとくふう」について写真をたくさん掲載し、重点を置いている。
- 5 「幼児期（架け橋期）接続」に関する校閲を受けているので幼保からのスタートカリキュラムにも力を入れている。5歳児から1年生までの2年間の架け橋期に重点を置き、幼児期の育ちや学びを小学校につなぐようにしている。

【大日本図書】

- 1 紙面の内容と同じものが二次元バーコードで読み込める。動画を見ることができるものもある。
- 2 写真とイラストのバランスがよく配置されていてスッキリして見やすい。活動ごとに気持ちマークを使って振り返る構成になっていて、その時々的心情を記入しやすい。また、まとめ方や話し合いの方法が例示してあり、児童の深い学びにつながる。
- 3 巻末の「がくしゅうどうぐばこ」では、他教科との関連が図れるように教科名が記されている。
- 4 「幼保小連携教育」の監修を受けている。
- 5 シンプルで情報量が少ないので、特別支援が必要な児童は集中しやすい。内容・量的はちょうど良い。

【学校図書】

- 1 紙面ではイラストのものが、二次元バーコードでは写真で見られるため、児童がより詳しく知ることができる。写真を多用し、活動内容を視覚的に捉えられるようになっている。
- 2 単元の終わりにある「もっと」や「ものしりのうと」のコーナーがあることによ

て、児童の発展的な意欲を深められる構成になっている。児童が主体的に、自分たちでやってみようと思うような例が多い。

- 3 目次が年間計画になっていて見通しがもちやすい。
- 4 左利きの児童も教科書に文字を書きやすいよう配慮されている。
- 5 巻末の「まなびかたずかん」では、「みる」「はなす」「きく」「かんがえる」「かく」「はっぴょうする」などに、それぞれ1ページずつページを使って、学び方を学べるようになっている。

【教育出版】

- 1 紙面にも多数の生き物が掲載されているが、二次元バーコードを読み込むとさらに多数の生き物が掲載されているページがある。
- 2 ページの左上に配置してあるBOXを読むことで、単元のどの段階なのか分かる構成となっている。また、「わくわくすいっち」があることで、多様な活動を広げるきっかけになる。
- 3 児童が、巻末の学びのポケットを使い、各教科の学習との関連性を理解することができる。学習と生活が結びつき、学習が生かされ身近に感じることができる。
- 4 幼児教育との接続に関する著作関係者がいる。
- 5 SDGs と関連させたページがあり、写真が多く並んでいて興味や関心を引く内容になっている。これからの未来に向け、何ができるのかを考えさせる内容が掲載されている。

【光村図書】

- 1 植物、生き物を詳しく調べられる二次元バーコードがないため、自分で調べる必要がある。
- 2 絵本作家ヨシタケさんのイラストで多様な考え方を示している。イラストの中に、児童のつぶやきのような台詞があり、自分の考えをもちづらい児童のヒントとして使うことができる。
- 3 写真が大きく分かりやすい。単元の導入に、どんな活動をするか具体的に想像できる写真を用いているので、児童が前向きな気持ちで学習を進めることができる。別冊の生活辞典、草花辞典の写真もきれいで見やすく分かりやすい。
- 4 「特別支援教育に関する教育」や「外国人児童への教育」に関する校閲など、多様性に関する校閲を様々受けている。
- 5 特定外来種に新しく登録された生き物（アメリカザリガニ・アカミミガメ）の飼育に言及しており、SDGsへの配慮がなされている。

【啓林館】

- 1 表紙に二次元バーコードがあり、読み込むと目次が出てくる。そこから各生き物、植物を検索できる。また、デジタルコンテンツの「デジタルたんけんブック」は発展的な内容が含まれており、児童が興味、関心をもちやすい。
- 2 3部構成でどの単元も作られているため、児童にとって流れをつかみやすい構成である。「がくしゅうずかん」「びっくりずかん」は、学びを広めることができる。木の実や落ち葉がたくさん載っていて、色の変容が分かる。
- 3 他教科との関連が持ちやすいイラストや写真の配置となっている。下巻では3年生の理科につながる気付きが掲載されている。
- 4 「幼児教育に関する監修」を受けている。幼児期の経験を生かした「すたあとぶっく」があり、1年生の子供たちが学校を楽しみにできる工夫がある。
- 5 監修が幼児教育、図鑑ページ、特別支援教育、言語力など、内容によって担当者が変わっていて、その分野のスペシャリストがつくっている。

教科・種目名	音楽
--------	----

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【教育出版】

- 1 題材構成がシンプルで自由度が高く、児童が考えたことを書き込む余地がある。
- 2 全学年巻頭に示されている「学習マップ」及び3年生以上の「学習の進め方」により、児童が見通しと意欲をもって学習を進めることができ、主体的な学びの実現が図られる。
- 3 二次元バーコードによる模範演奏の動画やスコア付きの鑑賞教材等が充実しており、必要に応じて活用することで個別最適な学びが可能となる。
- 4 学習カードがPDF、wordで入っており、著作権への対応を必要とせず、児童が学びを深めるために活用することができる。
- 5 教科書内の写真や挿絵が児童の心象に合っている。児童が自分のイメージを膨らませながら創造的に学ぶことができる。

【教育芸術社】

- 1 題材がパッケージ化されており、学習活動が「見つける」「考える」「歌う・演奏する」と記述されているため何を学ぶのかがはっきりしている。
- 2 各所にある吹き出しが児童の気付きを引き出し、学びを引き出すことが可能である。
- 3 表現教材の音源が二次元バーコードで充実しており、家庭でも復習することができるため、自分の学び方に合った進度を選択しながら学習することができる。
- 4 日本の伝統音楽について年表とともに示すことで、他の文化や出来事など、歴史学習との関連を図ることができる。
- 5 著作権についての知識を得ることができる。

教科・種目名	図画工作
--------	------

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【開隆堂出版】

- 1 全学年をとおしてユニバーサルデザインの観点に配慮したレイアウトになっており、誰でも、どこでも活用しやすい工夫が見られる。
- 2 各題材の左下に掲載される「タブレット端末で見てみよう」では、ワークシートを活用することができ、発想・構想の力の定着に繋がる。
- 3 全学年共通で図画工作科で育みたい力に合わせた3つのキャラクターによるアドバイスがあり、各学年の目標が捉えやすい。
- 4 中学年及び高学年に設定されている「つながる造形」では、4年間を通じて社会や他者との関わりに着目しており、地域や他者とともに生きるという文京区の教育目標に相応しい。
- 5 すべての図版に図版番号が付記されたり、掲載写真や図間の隙間を大きくしたりするなど、児童にとっての見やすさやわかりやすさを考慮している。
- 6 児童の発達段階に合致し、思考力や判断力、表現力を高める題材が多い。

【日本文教出版】

- 1 見出しやレイアウトに工夫（フォント、写真の配置、吹き出しによるアドバイス等）があり、児童の意欲・興味・関心を引き出す配慮がある。
- 2 冒頭の見開きコラム「学習の進め方」で、授業の進め方がイラストと共に紹介され、学習指導要領「造形遊び」の活動の取組への援助になる。
- 3 多様なルーツをもつ児童の写真を掲載されており、インクルーシブ教育や文京区の教育ビジョン「個が輝き共に生きる文京の教育」に相応しい。
- 4 冒頭のコラム「保護者の方へ」に図画工作科で育みたい力が端的に示されており、教科への理解の周知、促進のきっかけになる。
- 5 独自のアプリや二次元バーコードが数多く用意されており、オンラインによる学習等に対応できる。
- 6 ごみをよみがえらせる作品や、題材で使用するプラ材を70%削減（令和2年度版比）するなど、全体的にSDGsを意識した構成になっている。

教科・種目名	家庭
--------	----

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 教科横断的な視点で、様々な知識を学ぶことができる。
- 2 SDGsに関する単独のページがある。様々な視点から生活を見つめ、SDGsを達成する力を身に付けることができる。
- 3 根拠となるデータを多く載せている。
- 4 調理の分量を「7g」だけでなく「1/3枚」など、児童が視覚的に分かりやすい表現を用いている。
- 5 目次の単元の配列が第5・6学年で対応しており、系統性の繋がりが分かりやすい。
- 6 「成長の記録」ページがあり、児童が見通しをもちやすい。
- 7 「玉結び」「玉どめ」の良い例だけでなく、悪い例も提示されており、分かりやすい。
- 8 お金の使い方（5年）の学習が早い時期に設定されており、昨今の児童の実態に合っている。
- 9 巻末資料「いつも確かめよう」で、調理や裁縫の基本事項が写真入りで載っており、確かめたいときにすぐに確認できる。

【開隆堂出版】

- 1 各題材が全て、「気付く・見つける」→「わかる・できる」→「生かす・決める」の3ステップで展開できるようになっており、めあてが明確である。
- 2 二次元バーコードを開いたときのメニュー画面が見やすく分かりやすい。
- 3 二次元バーコード内の動画の内容が簡潔である。
- 4 米の炊き方で、透明の鍋と文化鍋両方の写真があり、どの学校でも実践できるため分かりやすい。
- 5 見開きで活動の流れが完結しているため、全体の見通しがもちやすい。また、左→右の流れで統一されており、下地の色がついている点も見やすくなっている。
- 6 1冊のページ数は多いが、その分1ページの文字の量が精査されており、内容がすっきりとまとまっている。適度な余白があり、見る場所が分かりやすい。文字も大きく読みやすい。
- 7 性や国籍などの多様性を意識した、写真やイラストが随所に見られる。
- 8 裁縫箱の中に入れる裁縫用具について、「必要なもの」と「あると便利なもの」に分けて書いてあるのがよい。
- 9 用語索引や、ネット参照資料が巻末にあり、必要な情報を見つけやすい。

教科・種目名	保健
--------	----

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 各項がステップ1～ステップ4で構成され、問題解決の過程が分かりやすく示されており、主体的・対話的で深い学びを通して、幅広い知識と教養を身に付けることができるように配慮されている。
- 2 養護教諭や栄養教諭、スクールカウンセラー、学校医などからのアドバイスが掲載されており、学校内外の専門性を有する人材の有効活用に配慮されている。
- 3 写真やイラストでは、国籍や年齢の違い、障がいの有無など、多様な人々が表現されており、個人の価値を尊重する態度を養うことができるように配慮されている。
- 4 動画やシミュレーション、思考ツールなど、デジタルコンテンツが豊富に用意されており、教科書の二次元バーコードから端末を使わずに簡単に使用できるようになっている。

【大日本図書】

- 1 教科書全体を通して、自らの課題を発見し、主体的に取り組み、資料から読み取ったり友達と話し合ったりするなどの対話から思考を広げて深め、深い学びができるように配慮している。
- 2 第5学年の「心の健康」では、生活経験や学習を通して心が発達していくこと、様々な人々と関わっていることが実感できるよう図で表し、不安や悩みへの対処として、相談する人々がいることが分かるように工夫している。
- 3 全面的にユニバーサルデザイン（UD）フォントを使用、カラーユニバーサルデザインを踏まえた配色を工夫することで、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮している。
- 4 「考える・やってみる→まとめる→広げる・深める」の項目があり、学習の見通しをもちやすい。自身の思考を整理しやすい。

【大修館】

- 1 各単元最後に「資料 もっと学びを広げよう！深めよう！」があり、知識を深めたり事例があつたりして理解しやすい。
- 2 第3・4学年の「生活の中の保健を探そう」では、街の俯瞰図のイラストから健康や安全に関わることを探す活動、第5・6学年では、ニュースや身の回りの事柄から健康や安全に関わることを考える活動を設定し、保健の見方・考え方を働かせることができる手がかりになるように配慮している。
- 3 自力解決の後、友達と話し合う流れになっていて、自分の考えと比較したり自分の考えを深めたりすることができる構成となっている。
- 4 当該学年以降に習う漢字に振り仮名を付けている。また、振り仮名は初出だけでなく対象漢字すべてに付けて、文章の読解の段階でつまづかないように配慮している。

【文教社】

- 1 第4学年「体の発育・発達」では、グラフだけではなく、グラフと人のイラストが組み合わさっていて、より理解がしやすくなっている。
- 2 「もっと考えよう課」の内容が詳しい。自身の課題をどう解決したらよいのか考えられるようになっている。
- 3 イラストや写真を多く使用することで、児童が楽しく、分かりやすく学習できるように配慮している。
- 4 「学習のまとめ」が簡潔である。文章の量も丁度よい。

【光文書院】

- 1 自分の考えを書く量が適当である。
- 2 各単元末の「学んだことを生かそう」で学習内容を自分の生活に生かす視点を用意することで、児童が自分事として学習内容を活用できる構成にしている。
- 3 イラストや写真では、男女の比率やそれぞれの役割に偏りのないように配慮している。また、性別によって服装や髪型、身に着けているものの色などが固定的なイメージでパターン化されないよう、十分に配慮している。
- 4 教科書の二次元バーコードから学習内容に関連した動画などのデジタルコンテンツを手軽に見ることができるようにしている。

【学研】

- 1 各項目を「導入（課題をつかむ）」→「ピース①（自ら取り組む活動）」→「ピース②（対話的な活動）」→「ピース③（活用）」で構成し、身に付けた知識を基に、自己の課題を見付け、その解決に向けて思考・判断・表現する力を養うことができるようにしている。
- 2 第5・6学年「もっと！知りたい・調べたい」では、学習内容の補充だけではなく、発展的な内容となっていて、自らの疑問を解決しやすくなっている。
- 3 表紙がイラストで色合いも優しく、柔らかい印象があり、児童の興味・関心に触れることができる。
- 4 理解を促し、学習効果や効率を向上するなどの目的から、デジタルコンテンツを豊富に用意し、対応する箇所に「デジタル」マークを示している。

教科・種目名	外国語
--------	-----

【東京書籍】

- 1 教科書への書き込みがしやすく、辞書が別冊1冊にまとまっているため、児童にとっても教師にとってもわかりやすく使いやすい。
- 2 児童用デジタル教科書は、映像が多く興味を引きやすい上、字幕の有無を選択することができる。また、教科書そのものも、デジタルコンテンツが豊富である。
- 3 日本の紹介を外国人が行う等、児童が英語に興味をもてる内容が掲載されている。

【開隆堂出版】

- 1 中学年で学習したことや、授業で使える20の表現などの掲載があり、復習がしやすい。また、新出事項を繰り返し学べるように工夫されている。
- 2 Story Timeでは、SDGs をテーマにしたり、国語の教材を取り上げるなどカリキュラム・マネジメントの視点があったりして、今日的な教育を意識している。
- 3 UDフォントの使用、学年ごとの辞書、自分で振り返りができる Can Do Checkなど、児童が扱いやすい工夫がなされている。

【三省堂】

- 1 学習の進め方の明示 (Hop Step Jump) が分かりやすく、見通しをもって学習しやすい。また、前半部分は文字が少なく、作りがシンプルであるため、取り組みやすい。
- 2 算数や理科、家庭科など他教科と関連する内容を取り上げているだけでなく、その部分にはマークを付けてわかりやすい表記になっている。
- 3 中学で入りたい部活についての内容を掲載したり、中学で学習する言語活動につながるよう手順が工夫されたりして、小中の接続が意識されている。

【教育出版】

- 1 第4学年まで使用していた「Let's try!」と似た構成の部分もあり、学習の継続がしやすく、児童にとっても取り組みやすい。
- 2 最初に二次元バーコードを読み取ると、全体を見渡すことができるため、個別学習の際にも活用しやすい。
- 3 アメリカの手話が紹介されていたり、表紙に車いすの児童のイラストがあったりして、多様性や人権的な配慮が感じられる。

【光村図書】

- 1 言語活動が丁寧に扱われ、会話を続ける例や受け答えの例が掲載されており、話す力をつけるための工夫がなされている。
- 2 Picture Dictionary では、日常英会話の記載があり実践しやすくなっている。また、絵カードも大きくわかりやすい作りで、切り離し等もしやすい。
- 3 国語「日本語と英語のちがい」をはじめ、理科や道徳の内容に関連しているところも多く、カリキュラム・マネジメントを意識した構成になっている。

【啓林館】

- 1 Pre unit があり、学習への意欲が高まるとともに、学習のめあてから振り返りまでのプロセスがあり、流れがわかりやすく見通しをもちやすい。
- 2 第5学年から聞き取りや書く活動が多く取り入れられていたり、発表や、やり取りの工夫について考える場面なども取り入れられていたりして、深い学びにつながる。
3. デジタル教科書では、歌やチャンツの字幕が進み具合をなぞって表示されるのでわかりやすい。また、チャンツは言語活動をする例文が含まれていて学習しやすい。

教科・種目名	特別の教科 道徳
--------	-------------

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 各学年の教科書は、「道徳の学習を始めよう」「本編教材」、「つながる・広げる」、「巻末付録」の4つから構成されている。「つながる・広げる」では、本編教材で考えたことを他教科等や日常生活に広げられる。「巻末付録」では、思考ツールなど、学びに役立つ資料が掲載されている。
- 2 道徳科の目標を達成しやすい名作の教材文が多い。
- 3 いじめ防止対策推進法についての教材がある。また、感染症に関する教材もあり、時代に対応している。学年によりSDGsの記載が目次や最後のページに明記されているので意識しやすい。
- 4 デジタルコンテンツがあり関連した動画が見られたり、ツールが使えたりする。
- 5 特別支援教育の観点からデザインや内容の検討や校閲をしていることが明記されている。ユニバーサルデザインフォントを採用しているため読みやすい文字である。また、挿絵が表情豊かでやわらかくイラスト配置の工夫がある。
- 6 低学年は、教材文の後ろに関連する絵本が紹介されているので、学習を広げやすい。

【教育出版】

- 1 同じ内容項目の教材を時期を変えて学ぶことで、児童の成長がわかりやすい構成になっている。また、低学年は物語教材中心、中学年は生活教材中心、高学年は人物教材中心の構成になっている。
- 2 道徳科の目標を達成しやすい、心温まる名作の教材文が多い。
- 3 SDGsの記載が目次や最後のページに明記されているので意識しやすい。
- 4 低学年以外のパソコンの活用についてのページが見開きであり、ICTの活用について特化している。ほとんどの教材文に、二次元バーコードが付いている。
- 5 特別支援教育の専門家の校閲を受けたことが明記されており、ユニバーサルデザインフォントを採用しているため読みやすい文字である。また、全体的に絵が見やすく、挿絵の位置が工夫されている。
- 6 「道徳ではこんな学び方をするよ」のページがあり、教科書どおりに進められるため、若手教員でも安心して使用できる。

【光村図書】

- 1 年間で3つのまとまりに分け構成している。「導入→教材→学習のてびき」で構成されており、1時間の授業がイメージしやすいものとなっている。
- 2 道徳科の目標を達成しやすい教材文（名作）が多い。6年生の教材には、小川笙船の教材があり、地域の特性に合致している。
- 3 巻末の一覧に「いじめ」や「いじめ対策」について記述があり、年間を通じて注力することができる。また、SDGsの記載が目次や最後のページに明記されているので意識しやすい。
- 4 デジタル教科書の朗読が便利である。児童の学びや教員の指導に役立つ二次元バーコードが使いやすいようである。
- 5 特別支援教育の専門家の校閲を受けたことが明記されており、ユニバーサルデザインフォントを採用しているため読みやすい文字である。
- 6 考えるヒントになる付録がついているので児童が使用しやすい構成になっている。他の教科との関連があり、教員が道徳教育を推進しやすい。

【日本文教出版】

- 1 学年ごとに、児童や学級の実状をふまえた内容項目や教材が配置されている。各学年、別冊の「道徳ノート」がある。ノートへの記入により、学習展開や教師の発問等が限定されてしまうことも考えられるので、指導上の工夫が必要である。
- 2 名作とされている教材文が少ない代わりに、マンガ関連や著名人の言葉がよく使用されている。また、第2学年には、三社祭の記載があり、地域の特性に合致している。
- 3 いじめの教材は、日常的で身近なことを題材にしている。いじめ防止対策推進法についての教材がある。また、最後のページの一覧に「いじめ」や「いじめ対策」について記述があり、年間を通じて注力することができる。SDGsの記載が目次や最後のページに明記されているので意識しやすい。
- 4 二次元バーコードを読み取ると、心情メーターやクラゲチャートなどの思考ツールが用意されており、児童が実際に操作しながら、学習を進められる工夫がされている。
- 5 特別支援教育の専門家の校閲のもと作成されている。ユニバーサルデザインフォントを採用しているため読みやすい文字であるとともに、文の量が多くないので、児童は使いやすい。
- 6 道徳ノートがあったり、導入が示されたりしているため、教員の経験年数に関係なく、指導しやすい。

【光文書院】

- 1 40の教材が掲載されており、児童の実態や教師の指導の願いを実現するために教材を選択することができる構成となっている。
- 2 名作とされている教材文が少ない代わりに、新しい教材文が多い。また、第6学年には、小川笙船の教材があり地域の特性と合致している。
- 3 巻末の一覧に「いじめ」や「いじめ対策」について記述があり、年間を通じて注力することができる。また、SNSの画面を写した形式の教材があり、時代に合っている。SDGsの記載が目次や最後のページに明記されているので意識しやすい。
- 4 特別支援教育の専門家の指導のもと構成している。ユニバーサルデザインフォントを採用しているため読みやすい文字である。
- 5 授業の流れが書いてあるので、子どもの自力学習で進めることができる。
- 6 すべての教材文に対して、発問が4つで話し合わせたいことが多い印象がある。授業の流れが書いてあるので、子どもの自力学習で進めることができる。

【学研】

- 1 様々な分野で活躍する、今を生きる人たちに関係する教材が多く収録されている。児童の発達段階を踏まえた配列になっている。
- 2 名作とされている教材文が多いが、新しい教材も多く収録されている。第4学年の心のパスポートにサトーハチロウの詩が掲載されており、地域の特性と合致する。
- 3 SNSの画面を写した形式の教材があり、時代に合っている。
- 4 授業の導入や展開にデジタルコンテンツを活用すると効果的な教材には、二次元バーコードを付加している。
- 5 ユニバーサルデザインに配慮して製作していることが明記してある。教科書の重量が軽い。
- 6 教師が子どもの実態に合わせて授業を工夫しやすいシンプルな構成である。研究編は、教員の経験年数に関係なく、指導しやすい構成になっている。